

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援Report野火止教室		
○保護者評価実施期間	令和6年9月23日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和6年9月22日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士や言語聴覚士、作業療法士など専門職が多い。</li> <li>・専門性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い、ミーティングをこまめにしている。</li> <li>・皆のコンセンサスを心得て実行できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様のニーズやお子様の成長に合わせたサービスを提供できるよう、今後も専門性からの見解を伝えたり療育活動を紹介したりしていきます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間でコミュニケーションを積極的に取れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門資格や経験を活かして様々な分野から、補い合っ意見を出している。</li> <li>・時間効率を意識して、ミーティングをすることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意見やアイデアを最終まで実行していきます。</li> <li>・抽出された意見やアイデアを実行する協力体制をより強化していきます。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団プログラムでの個別配慮をより丁寧に行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様のアセスメントや特性・発達状況に合わせた個別配慮を最終まで丁寧に行っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント内容の共有を強化</li> <li>・個別配慮の方法・アイデアの抽出</li> <li>・配慮(支援)の段階のモニタリング</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員のタスク状況を互いに理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼などで業務の確認をできている。より細かく互いに把握していききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タスク状況の見える化</li> <li>・業務の効率化</li> <li>・職員の協力体制はよくできている。事業所の業務を職員全体が総合的に知っていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所を清潔に保つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の清掃を行っているが、細かいところまで行き届いていない。</li> <li>・教材や玩具の整理整頓をより強化していききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の整理整頓の意識を高める</li> <li>・収納など見えやすい形にする(視覚化)</li> <li>・清掃箇所のリスト・チェック表の作成</li> </ul>